

## 2022年度 政治連盟 通常代議員会 議案書

○出席表		P1
○議事次第		P3
○付議事項		
第1号議案	2021年度「事業報告書案」承認の件	P4
第2号議案	2021年度「貸借対照表、財産目録、収支計算書、 次期繰越金」承認の件	P9
第3号議案	「規約」並びに「諸規則」改定の件	P21
第4号議案	「顧問」委嘱の件	P21
第5号議案	2022年度「会費額案」承認の件	P21
第6号議案	2022年度「事業計画案」承認の件	P25
第7号議案	2022年度「収支予算案」承認の件	P27

会期・日程 2022年3月11日(金)  
12:45 ~ 13:45

会 場 日本損害保険代理業協会・会議室  
(Zoom利用のハイブリッド出席型バーチャル会議)  
東京都千代田区有楽町1-12-1  
新有楽町ビル3階321区  
電話 03-3201-2745

全国損害保険代理業政治連盟



氏名	役職	都道府県	出欠	備考
齋藤北占町吉横小郡井立藤野工佐岡金津白	代議員 代議員 代議員 代議員 代議員 代議員 代議員 代議員 代議員 代議員 専務理事 常務理事 名誉会長 顧問 顧問 監事	愛媛 高知 福岡 福岡 大分 佐賀 長崎 宮崎 熊本 鹿児島 沖繩  東岐東石東  京阜京川京		会計責任者 事務局長
藤本島部田岡野	隆和 香代 雅直 勝清 正英 眞里 尚敏 琢貞 繁智 文雅			
宏秀子 志子 美孝 芳宏 子久昭 哉朗 樹明 雄一				

通常代議員会		出席	欠席
代議員	60		
専務理事	1		
常務理事	1		
名誉会長	1		
顧問	2		
監事	2		
合計	67		

## 2021 年度 通常代議員会 議事次第

一．開会挨拶と代議員会 成立宣言

会 長 小 平 高 義

一．議長選出

一．議長挨拶

一．議事録署名人の選出

一．付議事項

第 1 号議案      2021 年度「事業報告書案」承認の件

第 2 号議案      2021 年度  
                    「貸借対照表、財産目録、収支計算書、次期繰越金」承認の件

第 3 号議案      「規約」並びに「諸規則」改定の件

第 4 号議案      「顧問」委嘱の件

第 5 号議案      2022 年度「会費額案」承認の件

第 6 号議案      2022 年度「事業計画案」承認の件

第 7 号議案      2022 年度「収支予算案」承認の件

## 第1号議案 2021年度「事業報告書案」承認の件

### 2021年度 事業報告書（案）

#### 1. 会議

(1) 第1回理事会 日時：2021年2月9日(火)

会場：日本代協会議室（Zoom利用のハイブリッド出席型バーチャル会議）

- 議 題 1. 2021年度「通常代議員会」日程・会場、運営、付議事項、報告事項等の審議  
2. 2021年度「臨時代議員会」日程・会場、運営、付議事項、報告事項等の審議  
3. 「費用分担覚書」（日本代協に対する政治連盟費用分担額）の見直し

(2) 通常代議員会 日時：2021年3月5日(金)

会場：日本代協会議室（Zoom利用のハイブリッド出席型バーチャル会議）

- 議 題 1. 第1号議案 2020年度「事業報告書案」承認の件  
2. 第2号議案 2020年度「貸借対照表、財産目録、収支計算書、次期繰越金」承認の件  
3. 第3号議案 2021年度「会費額案」承認の件  
4. 第4号議案 2021年度「事業計画案」承認の件  
5. 第5号議案 2021年度「収支予算案」承認の件

(3) 臨時代議員会 日時：2021年6月11日(金)

会場：日本代協会議室（Zoom利用のハイブリッド出席型バーチャル会議）

- 議 題 1. 第1号議案 2021年1月～4月「業務報告」承認の件  
2. 第2号議案 2021年1月～4月「会費入金状況報告、会計報告」承認の件  
3. 第3号議案 2021年度「国政選挙対応」承認の件  
4. 第4号議案 役員選任の件

#### 2. 選挙対策委員会

(1) 第1回選挙対策委員会 日時：2021年9月28日(火) 方式：WEB（Zoom）会議

- 議 題 1. 「第49回衆議院議員総選挙」における「推薦候補者」の決定  
2. 選挙運動の進め方と注意点  
3. 各ブロックの状況報告

#### 3. 活動の概況（2021年1月～12月）

(1) 顧問の先生に対する後援活動

石原 伸晃先生

（合計5回/前年2回）

日 時	会合名	出席者	会場
4月21日	参議院広島県選挙区再選挙懇談	【広島】吉山選対委員、広藤副会長、染川企画環境委員長	東京海上日動広島支店会議室
9月13日	石原伸晃「政経セミナー」	小平会長、廣川選対委員、大島事務局長、野元専務理事、小見常務理事、工藤常務理事、金澤部長	ホテルニューオータニ+オンライン

10月19日	石原伸晃「出陣式」	小平会長、工藤常務理事	杉並区役所前
10月27日	石原伸晃・岸田総理大臣 「演説会」	工藤常務理事、金澤部長、黒田部長	阿佐ヶ谷駅前
12月24日	石原伸晃顧問 年末ご挨拶	小平会長、野元専務理事、工藤常務理事	日本代協会議室

藤井 裕久先生

(合計1回/前年1回)

日時	会合名	出席者	会場
12月6日	藤井裕久顧問 年末ご挨拶	小平会長、野元専務理事、工藤常務理事	藤井裕久事務所

(2) アドバイザーの先生に対する後援活動

鈴木 馨祐(すずき けいすけ)先生

(合計12回/前年7回)

日時	会合名	出席者	会場
4月19日	参議院広島県選挙区 再選挙懇談	【広島】 川向会長、吉山選対委員	三井住友海上 広島支店会議室
4月21日	参議院長野県選挙区 補欠選挙懇談	【長野】荒井選対委員、駒津 副会長、中澤副会長	三井住友海上 長野支店会議室
6月9日	鈴木馨祐議員懇談	【静岡】菊地会長、佐藤専務 理事、大井川副支部長	静岡県代協 事務局
7月6日	鈴木馨祐「政経セミナー」	野元専務理事、小見常務理 事、工藤常務理事、金澤部長	ANA インターコンチネンタル ホテル東京
9月15日	鈴木馨祐議員、上田勇衆議院 選挙候補者懇談	【千葉】 小口会長、今西専務理事	千葉県代協 事務局
9月21日	鈴木馨祐議員懇談	【山梨】土屋会長、小俣副会 長、小野選対委員	山梨県代協 事務局
10月15日	神奈川7区企業団体協議会 決起大会	【神奈川】三ヶ尻会長、藤原副会 長、徳山専務理事、植谷局員、岸 局員、小平会長、野元専務理事、 工藤常務理事	新横浜 グレイスホテル
11月1日	鈴木馨祐議員「選挙結果報告会」	工藤常務理事	新横浜 グレイスホテル
11月17日	鈴木馨祐衆議院議員を励ます 横浜経済人の集い	【神奈川】三ヶ尻会長、藤原副会 長、丹野副会長、徳山専務理事、 西支部長、工藤支部長、山口支部 長、須山支部長、吉野 CSR 委員長、 吉原機関紙編集室長、小平会長、 野元専務理事、工藤常務理事	ロイヤルホール ヨコハマ

11月26日	2022年度方針打ち合わせ	小平会長、野元専務理事、工藤常務理事	日本橋
12月3日	鈴木馨祐 「政経モーニングセミナー」	小平会長、野元専務理事、小見常務理事、工藤常務理事、金澤部長	ホテル ニューオータニ
12月10日	鈴木馨祐議員 年末ご挨拶	小平会長、野元専務理事、工藤常務理事	日本代協会議室

(3) セミナー、会合（東京開催）

（合計22回/前年30回）

日時	会合名	議員名	出席者	会場
4月8日	金田勝年君を励ます会	金田 勝年	工藤事務局長	ホテル ニューオータニ
4月13日	志公会と語る夕べ	麻生 太郎	小平会長、野元専務理事、小見常務理事、工藤事務局長、金澤部長	ホテル ニューオータニ
6月23日	松村祥史君の 更なる飛躍を期する会	松村 祥史	工藤事務局長	第一ホテル
7月1日	岸田文雄と国政を語る会	岸田 文雄	小平会長、野元専務理事、小見常務理事、工藤常務理事、金澤部長	ANA インターコンチネンタル ホテル東京
7月1日	大串ひろし「東京大志会」	大串 博志	野元専務理事、 工藤常務理事	都市 センターホテル
7月6日	左藤章 新しい日本を考える講演会	左藤 章	工藤常務理事	憲政記念館
7月7日	おにき誠 政経フォーラム in TOKYO	鬼木 誠	野元専務理事、 工藤常務理事	憲政記念館
7月8日	村上誠一郎「国政報告会」	村上 誠一郎	野元専務理事、 工藤常務理事	東京 プリンスホテル
7月8日	政策集団 水月会セミナー	石破 茂	工藤常務理事、 金澤部長	ホテル ニューオータニ
7月8日	宏池会と語る会	岸田 文雄	小平会長、野元専務理事、小見常務理事、工藤常務理事、金澤部長	東京 プリンスホテル
7月16日	日本をあらためる会 セミナー	北神 圭朗	工藤常務理事	オンライン
9月24日	志帥会 「新たな時代の国家戦略」	二階 俊博	小平会長、 工藤常務理事	オンライン
10月4日	岸田文雄と国政を語る会	岸田 文雄	小平会長、野元専務理事、小見常務理事、工藤常務理事、金澤部長	ホテル ニューオータニ

10月4日	大串ひろし「東京大志会」	大串 博志	野元専務理事、 工藤常務理事	都市 センターホテル
11月15日	古川禎久「政経セミナー」	古川 禎久	小平会長、小見常 務理事、金澤部長	憲政記念館
11月29日	石井ひろお君を支える会	石井 浩郎	工藤常務理事	東京 プリンスホテル
11月30日	神田憲次 モーニングセミナー	神田 憲次	工藤常務理事	ホテル ニューオータニ
12月6日	村井ひでき モ-ニングセッション	村井 英樹	野元専務理事、 工藤常務理事	ルポール麹町
12月6日	清和政策研究会との 懇親の集い	安倍 晋三	工藤常務理事	東京 プリンスホテル
12月14日	フォーラムK	大野 敬太郎	野元専務理事、 工藤常務理事	ホテル ニューオータニ
12月15日	高村正大君を囲む会	高村 正大	工藤常務理事	東京 プリンスホテル
12月22日	岸田文雄と国政を語る会	岸田 文雄	野元専務理事、小見 常務理事、工藤常務 理事、金澤部長	ANA インターコンチネンタル ホテル東京

(4) セミナー、会合（地方開催）

（合計24回/前年31回）

日時	会合名	議員名	代協名、出席者	会場
1月11日	2021年BIPセミナー	大塚 耕平	【愛知】 森選対委員	ミッドランド ホール
3月27日	岸田文雄後援会新春互礼会	岸田 文雄	【広島】 川向会長	広島国際会議場
4月9日	平フォーラム	平 将明	【東京】 廣川選対委員、 大島部長	大手町 サンケイプラザ
5月23日	逢沢一郎「政経セミナー」	逢沢 一郎	【岡山】 歳森会長、 野呂副会長	オンライン
6月28日	岸田文雄「新政治経済塾」	岸田 文雄	【広島】 川向会長	リーガロイヤル ホテル広島
7月6日	松本洋平「政経セミナー」	松本 洋平	【東京】 小平会長、 廣川選対委員	都市 センターホテル
7月6日	伊藤達也「ランチセミナー」	伊藤 達也	【東京】 磯会長、大島部長	ホテル ニューオータニ



7月10日	野田たけし「政治セミナー」	野田 毅	【熊本】 尾場瀬選対委員、 坂井専務理事	熊本ホテルキャ ッスル
7月10日	おにき誠「政経フォーラム」	鬼木 誠	【福岡】 大塚理事 選対委員長	ホテルニューオ ータニ博多
7月13日	猪口邦子を育てる会	猪口 邦子	【千葉】 小口会長	ホテルグリーン タワー幕張
7月24日	竹内ゆずる「政経セミナー」	竹内 譲	【京都】 小橋会長、 中村専務理事	京都ブライトン ホテル
8月6日	原田義昭君を激励する会	原田 義昭	【福岡】 川添監事	ホテルニューオ ータニ博多
8月22日	田中ひでゆき君と 共に語る集い	田中 英之	【京都】 安井副会長、 大槻副会長	京都ブライトン ホテル
8月28日	西田昌司 「京都政経パーティー」	西田 昌司	【京都】 小橋会長、 安井副会長	A N Aクラウン プラザ京都
8月30日	山本幸三 「北九州政経セミナー」	山本 幸三	【福岡】 大塚理事 選対委員長	リーガロイヤル ホテル小倉
10月4日	松本洋平君と 日本の未来を語る会	松本 洋平	【東京】 小平会長、 廣川選対委員	京王 プラザホテル
10月13日	伊藤達也「政経セミナー」	伊藤 達也	【東京】 廣川選対委員、 大島事務局長	京王 プラザホテル
11月20日	田野瀬太道 関西政経フォーラム 2021	田野瀬 太道	【奈良】 服部会長、 森井副会長	シェラトン 都ホテル大阪
11月27日	こやり隆史と語る会	小鍵 隆史	【滋賀】 山口会長、 大谷顧問	びわ湖大津プリ ンスホテル
12月2日	葉梨康弘君の 更なる活躍を期する会	葉梨 康弘	【茨城】 仁平会長	都市 センターホテル
12月4日	岸田文雄「新政治経済塾」	岸田 文雄	【広島】 川向会長	リーガロイヤル ホテル広島
12月18日	井上貴博 「政経文化セミナー」	井上 貴博	【福岡】 大塚理事 選対委員長	ホテル日航福岡
12月18日	大家敏志「政経フォーラム」	大家 敏志	【福岡】 大塚理事 選対委員長	ホテルニューオ ータニ博多

12月22日	上野みちこと語る会	上野 通子	【栃木】 村田会長	ホテル 東日本宇都宮
--------	-----------	-------	--------------	---------------

(3)その他の活動（セミナー・パーティー以外で政治連盟事務局が関与した個別活動）

< 日程 >	< 先方名 >	< 活動 内容 >
4月 2日	岸田 文雄	西田英範候補者・広島県代協役員懇談
4月 22日	武藤 容治	参議院補欠選挙・長野県代協役員懇談
5月 24日	牧野 治郎	損保協会副会長・瑞宝重光章受章表敬訪問
5月 25日	二階 俊博	自民党本部・各種団体協議会懇談会
6月 3日	谷 公一	自民党本部団体総局長・選挙対応打ち合わせ
7月 19日	野田 毅	熊本県代協役員懇談
8月 5日	小野寺 五典	自民党本部・主要団体実務者研修会
10月 18日	高市 早苗	自民党本部・政権公約に関する政策懇談会
11月 24日	財政金融証券関係団体委員会	自民党本部・予算税制等に関する政策懇談会

#### 4．令和4年度「税制改正に関する要望」

自然災害が激甚化・頻発化する中、お客様が自然災害への備えの一つとして加入する火災保険の重要性は益々高まっていることから、保険販売を行う代理店が自信を持ってお客様に火災保険を勧めることができるよう、将来にわたって、大災害発生時などに保険金が確実に支払われることを担保するための税制上の措置である「火災保険等に係る異常危険準備金制度」について、日本損害保険協会と連携して、以下の要望を実施。

- (1)積立率を現行の6%から10%に引き上げること
- (2)洗替保証率を現行の30%から40%に引き上げること

その結果、12月10日に公表された「令和4年度与党税制改正大綱」に、異常危険準備金の積立率を「現行の一律6%から火災・風水害種目については10%に引き上げる」こと等が盛り込まれた。引き続き風水災害を補償する商品を積極的におすすめし、お客様にさらなる安心をお届けしていく。

#### **第2号議案** 2021年度「貸借対照表、財産目録、収支計算書、次期繰越金」承認の件

- 1．2021年度 財務諸表の説明報告
- 2．2021年度 次期繰越金の提案
- 3．監事の監査報告

第45期

# 決算報告書

自 2021年 1月 1日

至 2021年12月31日

## 目 次

貸借対照表

正味財産増減計算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

収支計算書

収支計算書に対する注記

全国損害保険代理業政治連盟

# 貸借対照表

2021年12月31日現在

(単位:円)

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
借 方	資産の部			
	1.流動資産			
	普通預金	7,377,617	8,388,570	1,010,953
	郵便振替口座	3,083,015	688,275	2,394,740
	定期預金	3,859,230	3,961,682	102,452
	流動資産合計	14,319,862	13,038,527	1,281,335
	2.固定資産			
退職特定定期預金	168,000	65,480	102,520	
固定資産合計	168,000	65,480	102,520	
	資産合計	14,487,862	13,104,007	1,383,855
貸 方	負債の部			
	1.流動負債			
	流動負債合計	0	0	0
	2.固定負債			
	退職給与引当金	168,000	65,480	102,520
	固定負債合計	168,000	65,480	102,520
	負債合計	168,000	65,480	102,520
	正味財産の部			
正味財産	14,319,862	13,038,527	1,281,335	
正味財産合計	14,319,862	13,038,527	1,281,335	
	負債及び正味財産合計	14,487,862	13,104,007	1,383,855

# 正味財産増減計算書

2021年1月1日から2021年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1.経常増減の部			
(1)経常収益	[ 12,346,068 ]	[ 11,818,712 ]	[ 527,356 ]
通常会員会費	12,289,000	11,793,550	495,450
協賛会員会費	57,000	25,000	32,000
預金利子収入	68	162	94
経常収益計	12,346,068	11,818,712	527,356
(2)経常費用			
経常経費	[ 4,785,276 ]	[ 5,279,150 ]	[ 493,874 ]
人件費	( 2,485,000 )	( 2,500,000 )	( 15,000 )
退職給付費用	( 102,520 )	( 134,980 )	( 32,460 )
厚生費	( 345,000 )	( 330,000 )	( 15,000 )
備品・消耗品費	( 544 )	( 240,268 )	( 239,724 )
事務所費	( 1,852,212 )	( 2,073,902 )	( 221,690 )
通信費	135,374	145,201	9,827
交通費	20,548	98,666	78,118
業務委託費	200,000	200,000	0
借室費	920,000	1,000,000	80,000
手数料	551,101	528,418	22,683
諸雑費	25,189	101,617	76,428
政治活動費	[ 6,279,457 ]	[ 5,418,761 ]	[ 860,696 ]
組織活動費	( 443,382 )	( 444,403 )	( 1,021 )
会議費	56,950	2,150	54,800
印刷費	2,178	12,342	10,164
通信費	37,571	29,843	7,728
都道府県対策費	78,782	67,370	11,412
旅費交通費	134,755	160,116	25,361
諸活動費	133,146	172,582	39,436
渉外費	( 2,270,000 )	( 2,548,000 )	278,000
選挙関係費	( 851,595 )	( 51,475 )	800,120
機関誌費	( 212,520 )	( 212,520 )	0
調査研究費	( 1,960 )	( 62,363 )	60,403
寄付交付金	( 2,500,000 )	( 2,100,000 )	400,000
経常費用計	11,064,733	10,697,911	366,822
当期経常増減額	1,281,335	1,120,801	160,534
当期正味財産増減額	1,281,335	1,120,801	160,534
正味財産期首残高	13,038,527	11,917,726	1,120,801
2. 正味財産期末残高	14,319,862	13,038,527	1,281,335

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

退職給与引当金...退職給与引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3. その他

本財務諸表等は、全国損害保険代理業政治連盟が2021年1月1日から2021年12月31日までの期間において行った財産及び損益の状況について全国損害保険代理業政治連盟の代議員会に報告・開示するために一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して作成されている。

## 附属明細書

### 1. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給与引当金	65,480	102,520	0	0	168,000

# 財産目録

2021年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量数	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金	三菱UFJ銀行 日比谷支店	運転資金として	7,377,617
郵便振替口座	ゆうちょ銀行 東京貯金事務センター	運転資金として	3,083,015
定期預金	三菱UFJ銀行 日比谷支店	運転資金として	3,859,230
流動資産合計			14,319,862
(固定資産)			
退職特定定期預金	三菱UFJ銀行 日比谷支店	退職金の支払いに備えたもの	168,000
固定資産合計			168,000
資産合計			14,487,862
(流動負債)			0
流動負債合計			0
(固定負債)			
退職給与引当金	従業員に対するもの	職員退職給与引当分	168,000
固定負債合計			168,000
負債合計			168,000
正味財産			14,319,862

# 収 支 計 算 書

2021年1月1日から2021年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 経常収入	[ 11,000,000 ]	[ 12,346,068 ]	[ 1,346,068 ]	
通常会員会費収入	11,000,000	12,289,000	1,289,000	
協賛会員会費収入	0	57,000	57,000	
預金利子収入	0	68	68	
事業活動収入計	11,000,000	12,346,068	1,346,068	
2. 事業活動支出				
(1) 経常経費支出	[ 5,010,000 ]	[ 4,682,756 ]	[ 327,244 ]	
人件費支出	( 2,485,000 )	( 2,485,000 )	( 0 )	
厚生費支出	( 345,000 )	( 345,000 )	( 0 )	
備品・消耗品費支出	( 60,000 )	( 544 )	( 59,456 )	
事務所費支出	( 2,120,000 )	( 1,852,212 )	( 267,788 )	
通信費支出	150,000	135,374	14,626	
交通費支出	100,000	20,548	79,452	
業務委託費支出	200,000	200,000	0	
借室費支出	920,000	920,000	0	
手数料支出	550,000	551,101	1,101	
諸雑費支出	200,000	25,189	174,811	
(2) 政治活動費支出	[ 8,850,000 ]	[ 6,279,457 ]	[ 2,570,543 ]	
組織活動費支出	( 700,000 )	( 443,382 )	256,618	
会議費支出	57,000	56,950	50	
印刷費支出	13,000	2,178	10,822	
通信費支出	30,000	37,571	7,571	
都道府県対策費支出	100,000	78,782	21,218	
旅費交通費支出	200,000	134,755	65,245	
諸活動費支出	300,000	133,146	166,854	
渉外費支出	( 3,100,000 )	( 2,270,000 )	830,000	
選挙関係費支出	( 2,000,000 )	( 851,595 )	1,148,405	
機関誌費支出	( 220,000 )	( 212,520 )	7,480	
調査研究費支出	( 30,000 )	( 1,960 )	28,040	
寄附交付金支出	( 2,800,000 )	( 2,500,000 )	300,000	
事業活動支出計	13,860,000	10,962,213	2,897,787	
事業活動収支差額	2,860,000	1,383,855	4,243,855	
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
退職特定定期預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	[ 96,000 ]	[ 102,520 ]	[ 6,520 ]	
退職特定定期預金取得支出	96,000	102,520	6,520	
投資活動支出計	96,000	102,520	6,520	
投資活動収支差額	96,000	102,520	6,520	
予備費支出				
予備費支出	44,000	0	44,000	
当期収支差額	3,000,000	1,281,335	4,281,335	
前期繰越収支差額	13,038,527	13,038,527	0	
次期繰越収支差額	10,038,527	14,319,862	4,281,335	



## 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、普通預金・郵便振替口座・郵便通常貯金、定期預金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金	8,388,570	7,377,617
郵便振替口座	688,275	3,083,015
定期預金	3,961,682	3,859,230
合 計	13,038,527	14,319,862
次期繰越収支差額	13,038,527	14,319,862

## 独立監査人の監査報告書

令和4年2月1日

全国損害保険代理業政治連盟

会長 小平 高義 殿

辻・本郷 監査法人

東京都千代田区

代表社員

業務執行社員

公認会計士

藤田 裕



### 監査意見

当監査法人は、全国損害保険代理業政治連盟の2021年1月1日から2021年12月31日までの第45期事業年度の貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録及び収支計算書並びに収支計算書に対する注記（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 財務諸表等に対する会長の責任

会長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために会長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、会長は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 会長が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに会長によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 会長が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

## 財務諸表等作成の基礎並びに配布及び利用制限

財務諸表に対する注記3に記載されているとおり、財務諸表等は、全国損害保険代理業政治連盟に関する財産及び損益の状況について全国損害保険代理業政治連盟の代議員会に報告・開示するために財務諸表に対する注記3に記載された会計の基準に準拠して作成されており、したがって、それ以外の目的には適合しないことがある。当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

本報告書は、全国損害保険代理業政治連盟のみを利用者として想定しており、全国損害保

険代理業政治連盟以外に配布及び利用されるべきものではない。

#### 利害関係

全国損害保険代理業政治連盟と当監査法人の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

2022年2月8日

## 第45期監査報告書

全国損害保険代理業政治連盟  
会長 小平高義 殿

監事 津田文雄



監事 白石雅一



私、監事は、当連盟の2021年1月1日から2021年12月31日までの2021年度(第45期)の会計および会計以外の業務の監査を行いました結果、次のとおり報告いたします。

### 1. 会計に関する監査

2021年1月1日から2021年12月31日までの貸借対照表、財産目録、収支計算書、次期繰越金については、辻・本郷監査法人の監査報告書を妥当と認め、かつ当職も監査の結果、財産および収支の状況を正しく示しており、次期繰越金も適正と認めます。

貸借対照表 (2021年12月31日現在)  
正味財産増減計算書 (2021年1月1日～2021年12月31日)  
財務諸表に対する注記  
附属明細書  
財産目録 (2021年12月31日現在)  
収支計算書 (2021年1月1日～2021年12月31日)  
収支計算書に対する注記

上記書類は辻・本郷監査法人の監査報告書の添付書類のとおりであります。

### 2. 会計以外の業務の監査

会計以外の業務を監査するため調査を行った結果、事業報告書の内容は真実であり、役員職務執行は適正であると認めます。

以上

### 第3号議案 「規約」並びに「諸規則」改定の件

#### 1. 「規約」の改定

- ・2009年2月19日の一部改定を最後に規約の見直しを行っていないため、「全国損害保険代理業政治連盟 規約(案)」のとおり、2022年3月11日付で改定を実施する。

#### 2. 「諸規則」の改定

- ・規約の改定に伴い、「全国損害保険代理業政治連盟 諸規則(案)」のとおり、2022年3月11日付で改定を実施する。

会費規則	改定
委員会規則	選挙対策委員会要領を改編して制定
ブロック規則	改定
旅費規則	改定
代議員選出規則	規約改定により新制定

### 第4号議案 「顧問」委嘱の件

#### 1. 鈴木馨祐衆議院議員(現アドバイザー)への顧問委嘱

- ・石原伸晃顧問が2021年12月31日付で顧問を辞任したため、2022年3月11日付で鈴木馨祐アドバイザーに顧問を委嘱する。

鈴木馨祐衆議院議員(神奈川県第7区選出 当選5回、生年月日1977年2月9日)

現職: 衆議院法務委員長

経歴: 財務省出身、自民党青年局長、財務副大臣、外務副大臣、自民党財務金融部会長

### 第5号議案 2022年度「会費額案」承認の件

#### 1. 2022年度 会費額(案)

##### (1) 会費額

- ・1会員1年間 2,000円とし、通常会員・協賛会員 会費共通とする。
- ・2,000円を超える部分は「寄附」の扱いとする。
- ・当面の間、政治連盟の組織率の高い都道府県への激変緩和措置として、従来からの年間1口1,000円以上の運営についても認めるが、できるだけ早期に、「1会員1年間 2,000円」にすることが望ましい。

##### (2) 会費の納入方法

- ・納入方法を下記のとおりとする。
  - 「代議員仲介による振込代行方式」(手集金または銀行口座振替)
  - 「個人直接振込方式」(政治連盟事務局への直接振込)
- ・ただし、やむをえないケースを除き、を原則とする(会員の同意を得た上で、代協会費に政連会費を上乗せし、口座振替によって会費を集金する方法 = 「京都方式」を中心とする)。

- ・各都道府県は、会員からの入金都度、政治連盟事務局に納入することを原則とし、政治連盟会計年度末（12月末）までに集金した会費は、12月末までに全額を政治連盟事務局に送金する。

(3) 還付の有無、送金費用

- ・会費の還付は行わない。
- ・送金に要する費用は政治連盟の負担とする。

(4) 2022年度「会費ガイドライン」

- ・2022年度「会費ガイドライン」は、**1,200万円**とする。  
（2021年度会費納入実額：1,234万円、2021年度会費ガイドライン：1,100万円）

(5) 都道府県別「会費納入目標額」

- ・全体ガイドライン（1,200万円）を、下記2指標で都道府県別に按分した金額を「都道府県別ガイドライン」とする（専業代理店未組織数を算出基準から削除）。  
代協正会員数（2021年12月末） 全体ガイドライン 1,000万円  
政治連盟通常会員数（2021年12月末） 全体ガイドライン 200万円  
経過措置として、算出した金額が「前年度ガイドライン」を上回る場合は、「前年度ガイドライン」を限度とする。
- ・前年度までの累計納入金額に不足金が発生していない場合は、「都道府県別ガイドライン」を、「都道府県別会費納入目標額」とする。
- ・前年度までの累計納入金額に不足金が発生している場合は、「都道府県別ガイドライン」に累計不足金額を加えた数値を「都道府県別会費納入目標額」とする。高額な場合は、2～3年を目途に入金できるよう計画を立てて対応する。

【参考】2021年度（前年度）ガイドラインの都道府県別按分額算出方法

代協正会員数（2020年3月末）	全体ガイドライン 500万円
専業代理店未組織数（2020年3月末）	全体ガイドライン 400万円
政治連盟通常会員数（2020年12月末）	全体ガイドライン 200万円



# 2021年度 政治連盟会費入金額一覧表

2021年12月31日

全国損害保険代理業政治連盟

都道府県	本年度 会費ガイド ライン	前年度末 までの 累計過不足	本年度会費 納入 目標額	通常会員 入金額		協賛会員 入金額		入金額 合計		目標額 に対する 過不足	入金率	京都 方式
	(千円) A	(千円) B	(千円) C	会員数 (名)	金額 (千円)	会員数 (名)	金額 (千円)	会員数 (名)	金額 (千円) D	D - C (千円)	D / C (%)	
北海道	484	816	1,300	132	449	1	5	133	454	846	34.9%	
小計	484	816	1,300	132	449	1	5	133	454	846	34.9%	
青森	139	458	597	36	92			36	92	505	15.4%	
岩手	117	875	992	61	124			61	124	868	12.5%	(京)
秋田	114	1,212	114	79	158			79	158	44	138.6%	(京)
小計	370	121	1,703	176	374	0	0	176	374	1,329	22.0%	
宮城	264	359	623	181	181			181	181	442	29.1%	(京)
山形	123	149	123	94	188			94	188	65	152.8%	(京)
福島	178	1,543	1,721	6	12			6	12	1,709	0.7%	
小計	565	1,753	2,467	281	381	0	0	281	381	2,086	15.4%	
新潟	187	224	187	87	174			87	174	13	93.0%	(京)
長野	235	0	235	205	235			205	235	0	100.0%	(京)
群馬	228	1,595	228	173	346			173	346	118	151.8%	(京)
小計	650	1,819	650	465	755	0	0	465	755	105	116.2%	
栃木	200	330	200	113	226			113	226	26	113.0%	(京)
茨城	258	0	258	97	258			97	258	0	100.0%	
埼玉	463	1,466	463	264	528			264	528	65	114.0%	(京)
千葉	470	1,692	470	267	534	1	2	268	536	66	114.0%	(京)
小計	1,391	3,488	1,391	741	1,546	1	2	742	1,548	157	111.3%	
神奈川	478	153	631	199	398	2	4	201	402	229	63.7%	(京)
山梨	107	1	108	90	90			90	90	18	83.3%	(京)
小計	585	154	739	289	488	2	4	291	492	247	66.6%	
東京	921	0	921	106	1,025	1	2	107	1,027	106	111.5%	
小計	921	0	921	106	1,025	1	2	107	1,027	106	111.5%	
静岡	306	1,144	1,450	9	400			9	400	1,050	27.6%	
愛知	547	956	1,503	207	608	1	14	208	622	881	41.4%	(京)
岐阜	233	20	233	173	346			173	346	113	148.5%	(京)
三重	180	76	256	163	332	9	18	172	350	94	136.7%	(京)
小計	1,266	2,156	3,442	552	1,686	10	32	562	1,718	1,724	49.9%	
富山	119	0	119	92	119			92	119	0	100.0%	(京)
石川	129	1,586	129	113	226			113	226	97	175.2%	(京)
福井	116	306	116	121	121			121	121	5	104.3%	(京)
小計	364	1,892	364	326	466	0	0	326	466	102	128.0%	
滋賀	110	37	147	101	101			101	101	46	68.7%	(京)
京都	250	0	250	211	250			211	250	0	100.0%	(京)
奈良	125	16	125	125	125			125	125	0	100.0%	(京)
小計	485	21	522	437	476	0	0	437	476	46	91.2%	
大阪	740	16	740	601	740			601	740	0	100.0%	(京)
兵庫	356	0	356	178	356			178	356	0	100.0%	(京)
和歌山	152	338	152	153	153			153	153	1	100.7%	(京)
小計	1,248	354	1,248	932	1,249	0	0	932	1,249	1	100.1%	
岡山	254	296	254	229	229			229	229	25	90.2%	(京)
鳥取	84	59	84	94	94	6	6	100	100	16	119.0%	(京)
島根	53	210	53	31	62			31	62	9	117.0%	(京)
小計	391	565	391	354	385	6	6	360	391	0	100.0%	
広島	234	1	234	82	255			82	255	21	109.0%	
山口	127	543	127	68	136			68	136	9	107.1%	(京)
小計	361	544	361	150	391	0	0	150	391	30	108.3%	
徳島	91	753	91	75	150			75	150	59	164.8%	(京)
香川	98	483	98	93	170			93	170	72	173.5%	(京)
愛媛	153	948	153	108	214			108	214	61	139.9%	(京)
高知	77	211	77	42	88			42	88	11	114.3%	
小計	419	2,395	419	318	622	0	0	318	622	203	148.4%	
福岡	570	307	570	421	842			421	842	272	147.7%	(京)
大分	130	146	130	93	186			93	186	56	143.1%	(京)
佐賀	97	1,020	97	88	176			88	176	79	181.4%	(京)
長崎	110	339	449	17	41	3	6	20	47	402	10.5%	
小計	907	1,134	1,246	619	1,245	3	6	622	1,251	5	100.4%	
宮崎	110	106	216	51	226			51	226	10	104.6%	
熊本	176	1	177	81	167			81	167	10	94.4%	
鹿児島	164	427	164	96	192			96	192	28	117.1%	(京)
沖縄	155	370	155	82	166			82	166	11	107.1%	(京)
小計	605	690	712	310	751	0	0	310	751	39	105.5%	
合計	11,000	7,860	17,876	6,188	12,289	24	57	6,212	12,346	5,530	69.1%	36

本年度会費納入目標(C)

○前年度末累計納入金額(B)に不足額が無い場合 = 本年度会費ガイドライン(A)と同じ

○前年度末累計納入金額(B)に不足額が有る場合 = 本年度会費ガイドライン(A) + 前年度末累計納入金額不足額(B)

(注)会費納入目標額が高額な場合は、2～3年計画でご入金をお願いします。



## 2022年度 都道府県別 政治連盟会費目標額一覧表

都道府県	代協 正会員数 2021.12.31 現在 A	正会員数 按分額 (千円) B	政連 通常 会員数 2021.12.31 現在 C	政連 会員数 按分額 (千円) D	今年度 会費 按分額 B+D (千円) E	前年度 会費 ガイド ライン (千円) F	今年度会費 ガイドライン EとFで 低い値 (千円) G	前年度末 累計納入 金額 過不足 (千円) H	今年度 会費納入 目標額 (千円) I
北海道	591	530	132	43	573	484	484	846	1,330
小計	591	530	132	43	573	484	484	846	1,330
青森	133	119	36	12	131	139	131	505	636
岩手	118	106	61	20	126	117	117	868	985
秋田	88	79	79	26	105	114	105	1,256	105
小計	339	304	176	58	362	370	353	117	1,726
宮城	214	192	181	59	251	264	251	442	693
山形	145	130	94	30	160	123	123	214	123
福島	229	205	6	2	207	178	178	1,709	1,887
小計	588	527	281	91	618	565	552	1,937	2,703
新潟	184	165	87	28	193	187	187	211	187
長野	209	187	205	66	253	235	235	0	235
群馬	212	190	173	56	246	228	228	1,713	228
小計	605	542	465	150	692	650	650	1,924	650
栃木	134	120	113	37	157	200	157	356	157
茨城	200	179	97	31	210	258	210	0	210
埼玉	359	322	264	85	407	463	407	1,531	407
千葉	352	315	267	86	401	470	401	1,758	401
小計	1,045	936	741	239	1,175	1,391	1,175	3,645	1,175
神奈川	451	404	199	64	468	478	468	229	697
山梨	123	110	90	29	139	107	107	18	125
小計	574	514	289	93	607	585	575	247	822
東京	859	770	106	34	804	921	804	106	804
小計	859	770	106	34	804	921	804	106	804
静岡	288	258	9	3	261	306	261	1,050	1,311
愛知	486	436	207	67	503	547	503	881	1,384
岐阜	220	197	173	56	253	233	233	133	233
三重	230	206	163	53	259	180	180	94	180
小計	1,224	1,097	552	179	1,276	1,266	1,177	1,704	3,108
富山	118	106	92	30	136	119	119	0	119
石川	154	138	113	37	175	129	129	1,683	129
福井	129	116	121	39	155	116	116	311	116
小計	401	360	326	106	466	364	364	1,994	364
滋賀	136	122	101	33	155	110	110	46	156
京都	358	321	211	68	389	250	250	0	250
奈良	138	124	125	40	164	125	125	16	125
小計	632	567	437	141	708	485	485	30	531
大阪	858	769	601	194	963	740	740	16	740
兵庫	301	270	178	58	328	356	328	0	328
和歌山	162	145	153	49	194	152	152	339	152
小計	1,321	1,184	932	301	1,485	1,248	1,220	355	1,220
岡山	288	258	229	74	332	254	254	271	254
鳥取	95	85	94	30	115	84	84	75	84
島根	46	41	31	10	51	53	51	219	51
小計	429	384	354	114	498	391	389	565	389
広島	219	196	82	27	223	234	223	22	223
山口	166	149	68	22	171	127	127	552	127
小計	385	345	150	49	394	361	350	574	350
徳島	117	105	75	24	129	91	91	812	91
香川	131	117	93	30	147	98	98	555	98
愛媛	137	123	108	35	158	153	153	1,009	153
高知	106	95	42	14	109	77	77	222	77
小計	491	440	318	103	543	419	419	2,598	419
福岡	578	518	421	136	654	570	570	579	570
大分	118	106	93	30	136	130	130	202	130
佐賀	96	86	88	28	114	97	97	1,099	97
長崎	167	150	17	5	155	110	110	402	512
小計	959	860	619	199	1,059	907	907	1,478	1,309
宮崎	137	123	51	16	139	110	110	10	110
熊本	235	211	81	26	237	176	176	10	186
鹿児島	177	159	96	31	190	164	164	455	164
沖縄	165	148	82	27	175	155	155	381	155
小計	714	641	310	100	741	605	605	836	615
全国合計	11,157	10,000	6,188	2,000	12,000	11,000	10,509	9,194	17,515

## 今年度会費納入目標額(I)

○前年度末累計納入金額(H)に不足額が無い場合 = 今年度会費ガイドライン(G)と同じ

○前年度末累計納入金額(H)に不足額が有る場合 = 今年度会費ガイドライン(G) + 前年度末累計納入金額不足額(H)

(注)会費納入目標額が高額な場合は、2～3年計画でご入金をお願いします。

## 2022 年度 事業計画（案）

### 1. 制度案件への対応

#### (1) 銀行窓販の「弊害防止措置」の存続

日本代協としては「銀行等の保険販売に対する事前規制として設けられている弊害防止措置は、消費者保護の観点から引き続き必要」との立場であるが、金融機関関連団体や欧米諸国は同措置の撤廃を強く求めている現状にある。日本代協の主張が反映された弊害防止措置が緩和されることのないよう、引き続き存置を求めて顧問・支援議員への要請を行っていく。

#### (2) 「地震保険料控除制度」の充実

日本損害保険協会「令和 4 年度税制改正に関する要望」の中でも要望事項として掲げている「地震保険料控除制度の充実」について、実現に向けて取り組む。

( 現行税制 )	2007 年 1 月に制度創設
( 現行控除額 )	所得税 50,000 円、地方税 25,000 円

日本代協は日本損害保険協会とのタイアップ活動で地震保険の理解促進に努めてきた。「地震保険料控除制度」を充実させることで、生活再建としての地震保険制度を広く認知させる。

#### (3) 保険会社の「安定的な保険金支払い能力の確保」(日本損害保険協会との連携強化)

自然災害の激甚化・頻発化を受けて、保険会社の異常危険準備金残高は枯渇状態であり、積立率は現状に見合う水準への抜本的な修正が必要である。保険会社の「安定的な保険金支払い能力の確保」は、日本代協にとっても重要な課題であることから、日本損害保険協会と連携の上、「令和 4 年度税制改正に関する要望」を行った結果、12 月 10 日に公表された「令和 4 年度与党税制改正大綱」に、異常危険準備金の積立率を「現行の一律 6% から火災・風水害種目については 10% に引き上げる」こと等が盛り込まれた。今後も日本損害保険協会との連携を強化し、保険会社の「安定的な保険金支払い能力の確保」に向けて、販売サイドの立場から要請を続けていく。

#### (4) 「日本郵政グループ」に対する対応

日本郵政が保有する全株式の売却に向けた道筋の明確化と着実な実行

日本郵政グループ各社は、国策金融機関の実態は何ら変わっておらず、民間の既存事業者との間での公正な競争条件が確保されない状況が続いている。こうした状況下、ゆうちょ銀行による損害保険募集業務への参入など、中小事業者が多数を占める保険代理店の主要市場になし崩し的に参入する事例が続いており、これは、官業による民業圧迫そのものである。この問題の解決のためには、公正な競争条件の確保が大前提であり、新規事業参入を計画する以前に、日本郵政が保有する全株式の売却に向けた道筋の明確化と着実な実行を要望する。

郵便局の保険販売における種目拡大の阻止

郵便局は自動車保険の取り扱いを行っているが、日本代協は「日本郵政の政府保有株が全株売却されるまでは完全民営化されたとは言えない」との立場であり、それまでの間は、安易な種目拡大を阻止する方針である。政治連盟としては、郵便局の保険販売が損害保険代理店の利益を不当に害することのないよう注視しながら、顧問・支援議員への働きかけを続ける。

## **(5) キャッシュレス社会の実現に向けた取扱事業者の各種費用・手数料の引下げ**

クレジットカードやスマホ決済の際に取扱事業者の負担となる決済端末の導入費用や手数料の水準が高止まりしているため、キャッシュレス社会実現に向けた課題となっている。大きく社会を変えるためには、そこに関係するすべての当事者にとって「WIN - WIN」の環境を構築することが何よりも必要であり、一部の事業者に負担だけを負わせることは妥当ではない。「決済手数料の開示」などによる価格競争、ポイント制度で実施されていた「手数料負担に対する国庫補助」などを要望し、取扱事業者の負担軽減につなげる。

## **2 . 支援議員に対する地元での活動強化**

### **(1)支援議員「地元開催セミナー・会合」への参加と支援議員との接点強化**

損害保険代理店を取り巻く環境は大きく変化しており、経営の持続を確保する上で、様々な課題に直面している。支援議員に、保険代理店の声を汲み取ってもらい、力添えをもらうためには、様々な機会を捉えて、各選挙区で接点を持つことが重要である。その実現のために、議員主催の「地元開催セミナー・会合」への参加、支援議員に対する「代協総会・セミナーへのリアルまたはオンライン参加」要請などを通じて、支援議員との接点強化を進めていく。併せて、地元において「会員が支援議員とフリーな論議ができる環境」を整える。

### **(2)国政選挙対応**

2022年7月25日に、参議院議員の半数が任期満了を迎えるため、今年「第26回参議院議員通常選挙」が実施される。選挙は支援議員との関係強化を進める「絶好の機会」であるため、代議員・選挙対策委員・政治連盟役員が一体となって、各代協との連携強化を図り、選挙区における支援活動を前倒しかつ組織的に行う。選挙活動に当たっては、コンプライアンスに十分留意する。

## **3 . 組織課題への対応**

### **(1)「日本代協・事業方針」の把握と認識の共有**

政治連盟は、日本代協の事業運営に必要な政治活動を行う組織であり、定款上政治活動ができない日本代協とは「表裏一体の関係」にある。したがって、政治連盟の取り組みを進めるに当たっては、日本代協理事会等を通じて日本代協・事業方針の把握と役員間の認識共有に努め、日本代協と一体となって活動することを原則とする。

### **(2)「政治連盟 意義と活動」ミニセミナーの継続実施**

全国の代協会員間で、政治連盟に対する理解が十分進んでいない現状がある。については、政治連盟役員・選挙対策委員が講師となり、全国各地で「政治連盟 意義と活動」等の資料を活用してミニセミナーを開催し、政治連盟の「存在意義」、「歴史と背景」、「概要」、「活動内容」についての情宣活動を継続的に進めていく。

### **(3)「京都方式」導入推進と会員拡大**

政連会費の納入に当たっては、従来どおり「京都方式」の導入を進め、会員拡大を図る(2021年12月末現在で11代協が未導入)。暦年の会費未納が残っている代協に対しては、代議員・政治連盟役員・日本代協地域担当理事が連携して、課題の把握と対応策の協議を行い、対策を講じる(2021年12月末現在で12代協に累積未納金額あり)。

2022年度 収支予算 (案)

1. 総括表

収支予算額 総括表

収入の部		支出の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
	円		円
当期収入合計(A)	12,000,000	政治活動費	8,860,000
前期繰越収支差額	14,319,862	経常経費	5,000,000
		その他支出	140,000
		(当期支出合計)	14,000,000
		次期繰越収支差額	12,319,862
合 計	26,319,862	合 計	26,319,862

2. 収入の部

科 目	2022年度 予算額案	2021年度 決算	増減額
	円	円	円
会 員 会 費	12,000,000	12,346,000	346,000
利 子		68	68
預け金回収収入		-	-
寄附金収入		-	-
その他の収入		-	-
当期収入合計(A)	12,000,000	12,346,068	346,068
前期繰越収支差額	14,319,862	13,038,527	1,281,335
収入合計(B)	26,319,862	25,384,595	935,267

### 3. 支出の部

科 目	2022年度 予算額案	2021年度 決算	増減額	摘要
	円	円	円	
<b>政治活動費</b>				
会 議 費	80,000	56,950	23,050	代議員会会議費負担金
渉 外 費	3,200,000	2,270,000	930,000	政治セミナー・パーティー
通 信 費	40,000	37,571	2,429	電報
印 刷 費	20,000	2,178	17,822	名刺
旅 費・交通費	230,000	134,755	95,245	セミナー参加旅費
機 関 誌 費	220,000	212,520	7,480	政連ニュース
都道府県対策費	100,000	78,782	21,218	代議員、選挙対策委員活動費
選 挙 関 係 費	2,000,000	851,595	1,148,405	参議院選挙、選挙対策委員会
調 査 研 究 費	70,000	1,960	68,040	国会議員要覧等書籍
寄 附 交 付 金	2,500,000	2,500,000	0	顧問、アドバイザー寄付金
諸 活 動 費	400,000	133,146	266,854	中元・歳暮、支援議員対応
(政治活動費小計)	8,860,000	6,279,457	2,580,543	
<b>経常経費</b>				
人 件 費	2,470,000	2,485,000	15,000	事務局給与負担金
退 職 金	-	-	0	
厚 生 費	360,000	345,000	15,000	事務局社会保険負担金
業 務 委 託 費	200,000	200,000	0	日本代協への委託費
備 品・消耗品	30,000	544	29,456	封筒、郵便振替用紙、他
通 信 費	140,000	135,374	4,626	振込手数料、電話
交 通 費	120,000	20,548	99,452	代議員会・理事会旅費日当
手 数 料	560,000	551,101	8,899	税理士、会費集金代行費
諸 雑 費	200,000	25,189	174,811	各種会議対応
借 室 料	920,000	920,000	0	事務局・事務スペース負担金
(経常経費小計)	5,000,000	4,682,756	317,244	
<b>その他支出</b>				
退職特定定期預金預入	110,000	102,520	7,480	事務局長退職給与引当金
予 備 費	30,000	-	30,000	
(その他支出小計)	140,000	102,520	37,480	
当期支出合計(C)	14,000,000	11,064,733	2,935,267	
次期繰越収支差額	12,319,862	14,319,862	2,000,000	